

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

製造者情報	会社	ホーザン株式会社
	住所	大阪市浪速区幸町1-2-12
	担当部門	マーケティンググループ
	お問い合わせ窓口	ホーザンテクニカルホットライン
	電話番号	06(6567)3132
	製品番号	K-140 / K-141 / K-142
製品名	ラバー砥石	

2. 危険有害性の要約

本製品は、砥粒を合成ゴム結合剤で混合成型させたもので、商品を構成する成分のうち化学物質としての危険有害性情報をGHS分類にて記載。

GHS分類

酸化アルミニウム	: 健康に対する有害性	: 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)
		: 特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(肺)
カーボンブラック	: 健康に対する有害性	: 生殖細胞変異原性	区分2
		: 特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(肺)

※ 記載のないものは、区分に該当しない又は分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 発がんのおそれ

呼吸器系の障害

長期又は反復ばく露吸入による肺の障害

注意書き

安全対策 : 熱、火花、高温体等の着火源から遠ざけること。禁煙

保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

保護めがね・マスクを着用すること。

粉じんを吸入しないこと。

取扱い後は手洗いをを行うこと。

保管 : 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。

子供の手の届かない場所に保管すること。

廃棄 : 内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

物質の特定 : 酸化アルミニウムと合成ゴム結合剤との混合物

成分及び含有量(wt%) :

化学名又は一般名	CAS No.	重量割合 (wt%)	官報公示整理番号	化学物質 管理促進法 (PRTR法)	労働安全衛生法	毒劇法
酸化アルミニウム	1344-28-1	約60%	(1)-23	対象外	該当 189	対象外
ブタジエン・スチレン 共重合物	9003-55-8	約25%	(6)-134	対象外	対象外	対象外
イソプレン重合物	9003-31-0	約15%	(6)-748	対象外	対象外	対象外
カーボンブラック	1333-86-4	1%未満	—	対象外	該当 130	対象外

4. 応急措置

吸入した場合 : 粉じんを吸入したら、新鮮な空気のある場所に移し、水で十分にうがい(洗浄)をし、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

必要であれば医師の診察／手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : むやみに擦らず、作業終了後石けん水等で洗い流す。

必要であれば医師の診察／手当てを受ける。

眼に入った場合 : 粉じんが眼に入ったら、直ちに清浄な流水で洗眼をする。

このとき強く押さえたり、擦ったりしないこと。

必要であれば医師の診察／手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませ嘔吐させる。

必要であれば医師の診察／手当てを受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

: 作業中に発生する粉じんや研削液のミストを吸引すると呼吸器を刺激する。

長期的にはじん肺のおそれがある。

研削使用時に切粉が火花となり飛散し眼に飛び込んだ場合、眼球に火傷等の障害が発生する。

応急処置をする者の保護 : 作業中は必ず機械を停止させてから処置を行う。

医師に対する特別な注意事項: 砥石は鋭利な研削材が表面に存在するため、人体と擦ると切傷が発生する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 初期は散水、土砂被覆及び炭酸ガス、泡、粉末消火を行う。

使ってはならない消火剤 : 情報なし

特有の危険有害性 : 激しく加熱すると燃焼する。

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法 : 上記消火器等を使用し、風上から消火する。

消火時の保護具 : 防毒マスクの着用が必要。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ： 粉じん等が眼に入った場合は、清浄な水で数分間注意深く洗眼する。
- 粉じんを収集する場合は、保護具(保護めがね、防じんマスク等)を着用し、取扱った後は手を洗うこと。

環境に対する注意事項 : 砥石の削りカスを河川等に排出しないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 火気を避ける。
「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気 : 必要に応じて、局所排気内で取扱うこと。

保管 : 直射日光を避け、なるべく涼しい場所に保管すること。
高温多湿を避ける。
荷崩れがないように保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 局所集じん装置、局所排気装置、洗眼器、水道栓等
- 管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 : 未設定
- 保護具 : 国家検定に合格した防じんマスク及び保護めがねを必ず着用のこと。
- 適切な衛生対策 : うがい用及び洗眼用の水洗の設置が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 固体
- 色 : 黒色
- 臭い : わずかに臭う場合がある。
- 融点／凝固点 : 酸化アルミニウム : 2053℃
カーボンブラック : 3000℃以上(融点)
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : 酸化アルミニウム : 2980℃
- 可燃性 : 難燃性
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : データなし
- 引火点 : データなし
- 自然発火点 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH : データなし
- 動粘性率 : データなし
- 溶解度 : 水に不溶
- n-オクタノール／水分配係数(log値) : データなし
- 蒸気圧 : データなし

密度及び／又は相対密度	： 酸化アルミニウム	： 3.97g/cm ³
	結合剤	： 1.3g/cm ³
相対ガス密度	： データなし	
粒子特性	： データなし	

10. 安定性及び反応性

反応性	： 常温で極めて安定
化学的安定性	： 常温で極めて安定
危険有害反応可能性	： データなし
避けるべき条件	： 高温、高湿度
混触危険物質	： データなし
危険有害な分解生成物	： データなし

11. 有害性情報

急性毒性	： データなし
皮膚腐食性／刺激性	： データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	： データなし
生殖細胞変異原性	： カーボンブラック： 体細胞 in vivo 遺伝毒性試験(ラット肺胞細胞のDNA付加体形成試験)の結果は陽性である。 in vitro 変異原性試験(小核試験)の結果は陽性である。 遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性	： データなし
生殖毒性	： データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	： 酸化アルミニウム： 上気道刺激性があるとの記載より区分3(気道刺激性)に分類。 呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	： 酸化アルミニウム： 職業ばく露により肺に線維症が見られたとの報告がある。 区分1(肺)に分類。 カーボンブラック： 人での知見(じん肺症)及び動物知見(線維症)がある。 長期又は反復ばく露による臓器の損傷(肺) 長期又は繰り返しのばく露があると肺障害のおそれ
誤えん有害性	： データなし

12. 環境影響情報

- 水生環境有害性 短期(急性) : データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性) : データ不足のため分類できない。
生態毒性 : データ不足のため分類できない。
残留性・分解性 : データ不足のため分類できない。
生体蓄積性 : データ不足のため分類できない。
土壌中の移動性 : データ不足のため分類できない。
オゾン層への有害性 : データ不足のため分類できない。
-

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。
汚染容器及び包装 : 『ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず』に分類され、廃棄物として処理する。
知見なし
-

14. 輸送上の注意

国際規則

- 国連分類 : なし
海上規制情報 : 非危険物
航空規制情報 : 非危険物

国内規制

- 陸上規制情報 : 規制なし
海上規制情報 : 非危険物
航空規制情報 : 非危険物
特別の安全対策 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れなきよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしないこと。
-

15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
酸化アルミニウム : 法第57条の2 施行令第18条の2 別表第9の189
カーボンブラック : 法第57条の2 施行令第18条の2 別表第9の130

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

- : 2011.4.1 改正化審法 第2条
酸化アルミニウム : 1-23

化学物質管理促進法(PRTR法)

- : 対象外

毒物及び劇物取締法

- : 対象外

製品中の含有量や使用・保管する総数などの諸条件、また法令の改正により、必ずしも適用されるものではありません。

詳しくは各法令をご確認ください。

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、製品の適応性・安全性を保証するものではありません。取扱いには十分注意してください。

このデータの使用による損失や損害について一切責任を負いません。ご使用者の責任において安全対策を実施の上、取扱い願います。
